

令和六年度 日高看護専門学校 入学試験問題

〔地域枠・社会人〕

〔国語総合〕

(時間：六十分)

《注意事項》

- 1 試験監督者の指示があるまで問題冊子は開かないでください。
- 2 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があります。監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしてください。
- ① 氏名欄に、氏名・フリガナを記入してください。
- ② 番号欄に、右詰めで受験番号を記入し、その下のマーク欄にマークしてください。  
正しくマークされていない場合には、採点できないことがあります。
- 3 解答は、解答用紙の問題番号に対応した解答欄にマークしてください。  
国語の問題は全部で三十七問あります。解答用紙の問一から問三十七までの解答欄を使用してください。
- 4 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 5 試験終了後に問題冊子を回収しますので持ち帰らないでください。
- 6 問題冊子の所定の欄に受験番号を記入してください。

受 験 番 号





一 次の問いに答えなさい。解答番号は①～⑤。

問一 次の作品の中で、作品の書かれた時代が違つたものを一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は①。

- ① 源氏物語      ② 枕草子      ③ 万葉集      ④ 古今和歌集

問二 次の一節を含む作品の作者を選び、番号で答えなさい。解答番号は②。

おれは早速寄宿生を二人ばかり総代に呼び出した。すると六人出て来た。六人だろうが十人だろうが構う  
ものか寝巻のまま腕まくりをして談判を始めた。「なんでバツタなんか、おれの床の中に入れた。」

- ① 芥川龍之介      ② 夏目漱石      ③ 太宰治      ④ 志賀直哉

問三 次の傍線部の敬語のうち、尊敬語ではないものを一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は③。

- ① 無事ご卒業されたとうかがいましたが、本当におめでとうございませう。  
② あちらにいらつしやるのはどなたのご両親でしょうか。  
③ 駅に行くにはどの道が近道か、あなたはご存じですか。  
④ 昨日授業中に私語をして、先生に注意されてしまった。

問四 「物事が不徹底でもどかしい」様子を意味する四字熟語を一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は④。

- ① 臥薪嘗胆      ② 信賞必罰      ③ 隔靴搔痒      ④ 自縄自縛

問五 【例文】の「でも」と同じ用法が用いられているものを、あとから一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は⑤。

- 【例文】いくら呼んでも誰も姿を見せなかった。  
① あの子は転んでも泣きもしない。  
② ここでなら大声を出して騒いでもかまわない。  
③ 暇だからテレビでも見ましょうか。  
④ この映画はいま中国でも人気があります。

二 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。 解答番号は⑥〜⑫。

想像力（イマジネーション）とは目には見えないものを思い浮かべる能力のことです。人は目で見、耳で聞き、手で<sup>a</sup>ブレる現実の他に、想像力でつくりだした世界を自分の「現実」にすることができます。私たちは生きて、目覚めているかぎり、いたるところでこの想像力を働かせているのです。

今、目の前で起こっていることは、見たり聞いたりすることによって、また過去の出来事も記憶を呼び起こすことによって知ることができます。しかし、まだ見ぬ明日は、たんに五官を働かせて、感覚体験を再現するだけでは思い描くことはできません。現在から未来へ自分の心身を移そうとしたその瞬間から、<sup>1</sup>私たちは想像力に頼らざるを得なくなります。想像力を働かせ、未来を思い描くことによって、現在から未来への一步を踏み出すことができるのです。

人はあらゆる未来を創造的な想像の助けを借りて理解しようとしています。未来の事態を予測し、予測した未来から現在の行動を決めることは想像活動のもつとも重要なはずではないかと思えます。

いやな現在をふりきろうとするときも想像力が必要になります。コロナ<sup>b</sup>に苦しめられて、<sup>A</sup>よもやの三年目に入りました。一步玄関から出ればマスクははずせません。人々とマスクなしで会話できる日を夢見て、「三密」（密閉・密集・密接）を避ける生活が続いています。

二〇二二年二月二四日から、ウクライナのキーウ<sup>c</sup>コウが始まりました。ロシアの独裁者プーチンは核兵器や生物兵器までちらつかせながらウクライナ各地へ、病院や学校までも破壊し続けています。どんなに恐ろしい状況か、報道記事やSNS（ソーシャルネットワーク・キング・サービス）の発信からも想像をめぐらせています。

戦力の極限状況に生きるときも想像活動が活発になります。第二次大戦中、アドルフ・ヒットラー総督に率いられたナチス・ドイツはユダヤ人<sup>d</sup>ハクガイと東ヨーロッパへの領土拡大論を掲げて、ポーランドをはじめヨーロッパ各地にユダヤ人捕虜収容所を作り、ユダヤ人たちを収容し虐殺しました。ナチス・ドイツに虐殺されたユダヤ人は二一〇万人を超えるということです。

オーストリアの精神医学者・心理学者、<sup>\*</sup>ヴィクトール・フランクルの平和な暮らしはナチスのオーストリア併合によって破られてしまいました。ユダヤ人であるという理由のみで、集団殺人の組織と機構をもつアウシュビッツに送られてしまいます。ここで彼の両親も妻も子どもたちも毒ガスで殺されてしまいます。彼だけが凄惨な生活を経て、<sup>e</sup>キセキ的に生き延びることができたのです。フランクルは、ウィーン大学医学部の精神科医として復帰しました。彼は、復帰してもなお、たえまなく襲ってくるフラッシュバック（収容所での体験が鮮明に<sup>よみがえ</sup>蘇る症状）に悩まされます。彼は、収容所での体験を想起し、記録し可視化しました。凄惨な体験を可視化したことで彼はフラッシュバックから解放されたのです。また、この内観の記録が、『夜と霧——ドイツ強制収容所の体験記録』として公刊され、心理学者<sup>しんりがく</sup>霜山徳爾博士の<sup>f</sup>ホンヤクにより日本語で読むことができるようになりました。

この書は、人間が極限状況の中ではどんなに<sup>g</sup>ザンニンで、忌まわしい人間性を示すものかを説き、平静にはと

でも読み進められません。それでもなお、私はこの書にひきつけられてしまうのです。なぜでしょうか？ それは、同書が何よりも、人間性の豊かさを示してくれるからなのです。人間の醜さ、原始性が、とても正視できないほどに描かれているがゆえに、（ア）、その現実においてもなお、人は精神の豊かさを失わず、浄福を保ち続けることができる！ 同書を読むと、人間性の豊かさがいつそう輝きを増して実感できるのです。

《 中 略 》

フランクは苦悩に耐えるために、しばしば妻を思い出し「精神的な対話」を交わしたと述べています。心の中で交わす対話から、人は「自分の中にもっている愛する人間の精神的な像を想像して自らを充たすことができる」のです。妻が生きているかどうか、目の前にいるかどうかは問題ではなく、妻とのささやかな日常を思い出し、妻と対話することによって、（イ）、精神の浄福を取り戻すことができたというのです。

想像力を働かせ、想像世界を「現実」として心に思い描くことによって、収容所生活の厳しい現実を感覚体験として直接心身に受けとめず「すんだ」という記述も注目されます。

「直接受けとめない」？——これは厳しい現実からトウヒ<sup>h</sup>することを意味しているではありません。私たちが「現実を認識する」ということは、物理的存在をそのまま受け取っているのではないのです。私たちは「事前に対象を形づくる想像力」のはたらかきによって物理的存在を自分の経験と結びつけて創り変え、改作した表象（representation, 日常語の「イメージ」）を見ているのです。対象を知るためには、人は、事前<sup>i</sup>にその対象がどのようなものかの大枠をつくりださねばならないのです。

事前に対象を形づくるためには、そのもの、あるいはそれとルイジ<sup>i</sup>したことに以前に出会っていないなくてはなりません。私たちは目の前のものを手がかりにして、以前にとった行動や、そのとき感じた印象の痕跡を再現します。その印象の痕跡を過去の体験と比較対照することによって、目の前の過酷な状況を「心的なモデル」へとつくりかえるのです。五官を働かせて得た「直接体験」から抽象化された「経験」へとシヨウカ<sup>j</sup>する過程で、レジリエンス（ストレスを克服する精神的回復力）が高まってゆきます。

フランクが収容所である若い女性と会ったときのことを記した一節「苦悩の冠」から、レジリエンスが高まってゆく過程を読み取ることができます。

この若い女性は自分が近いうちに死ぬであろうことを知っていた。それにも拘わらず、私と語った時、彼女は快活であった。「私をこんなひどい目に遭わせてくれた運命に対して私は感謝していますわ。」と言葉どおり  
に彼女は私に言った。「なぜかと言いますと、以前のブルジョワ的生活で私は甘やかされていましたし、本当に精神的な望みを追ってはいなかったからです。」

女性は穏やかな表情で語りました。そして、窓から見える花盛りのカスタニエン（ライラック）の樹を指差し、その樹が自分の友であるとフランクに告げたのです。

「この樹とよくお話しますの。」と彼女は言った。私は一寸まごついて彼女の言葉の意味が判らなかつた。彼女は譫妄状態\*せんもうで幻覚を起こしているのだろうか？ 不思議に思つて私は彼女に訊いた。「樹はあなたに何か返事をしましたか？ —— しましたって！ —— では何て樹は言ったのですか？」彼女は答えた。「あの樹はこう申しましたの。私はここに居る——ここに——居る。私は居るのだ。永遠のいのちだ……。」

このエピソードから、記憶の中の愛する人と対話したり、芽ぶき、一輪一輪と花をつけていく命の営みにふれたりして、人は生きるよりどころを与えられ、レジリエンスが高まるということが読み取れます。

死の淵にあつても、人は内面的なよりどころを支えに生き続けることができます。現実のあまりの厳しさゆえに無気力に陥り、生ける屍しかばねと化していく人々の中で、内面生活の崩壊を免れ得た人のみがこの過酷な状況を耐え、自分自身を生きぬくことができたのでしょうか。

(内田伸子「想像力 生きる力の源をさぐる」より)

\*ヴィクトール・フランクル(一九〇五—一九九七) オーストリアの精神医学者

\*譫妄せんもう 外界からの刺激に対する反応が鈍り、錯覚や妄想などの意識障害を引き起こすこと。

問一 傍線部 a~j と同じ漢字が用いられているものを、次からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は

(6) (15)

- |   |      |      |                |                   |
|---|------|------|----------------|-------------------|
| a | フれる  | (6)  | ① 経済のシンコウ策。    | ② ショウガイのある人。      |
| b | カ    | (7)  | ③ 深海をセンスイする。   | ④ 車のセツシヨク事故。      |
|   |      |      | ① 将来にカコンを残す。   | ② 有機カゴウ物。         |
|   |      |      | ③ 冬に食べるナベ料理。   | ④ 混乱のカチュウに飲み込まれた。 |
| c | シンコウ | (8)  | ① シンチョウな判断を下す。 | ② 他人の権利をシンガイする。   |
|   |      |      | ③ 台風によるシンスイ被害。 | ④ 長期のフシンに苦しむ選手。   |
| d | ハクガイ | (9)  | ① ハクヒョウを踏む勝利。  | ② 無断のガイハクを禁じる。    |
|   |      |      | ③ ハクシンの演技。     | ④ ハクライヒンを求める。     |
| e | キセキ  | (10) | ① 敵のキシユウ攻撃。    | ② 条約をハキする。        |
|   |      |      | ③ キシヨウ衛生の打ち上げ。 | ④ キチヨウな経験を積む。     |
| f | ホンヤク | (11) | ① ホンマツテントウ。    | ② トウホンセイソウ。       |
|   |      |      | ③ 予想をクツガエす事態。  | ④ 前言をヒルガエす。       |
| g | ザンニン | (12) | ① 毎日のザンギョウは辛い。 | ② ヒサンな事件。         |
|   |      |      | ③ 江戸時代のザンシユの刑。 | ④ ザンテイ予算が可決された。   |
| h | トウヒ  | (13) | ① 裁判官をヒメンする。   | ② 鮮やかなヒヤク。        |
|   |      |      | ③ ヒナン訓練。       | ④ ヒロウが蓄積した。       |

- i ルイジ (14) ① 日本ドクジの文化。 ② ケイジ物を撤去した。
- j ショウカ (15) ① 駄菓子屋をアキナウ。 ② 黒板の文字をケす。  
③ 万歳をトナえる。 ④ 東の空に日がノボった。

問二 空欄ア・イにあてはまる副詞として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えなさい。解答番

- 号は (16)・(17)。
- ア (16) ① かなり ② もっと ③ かえって ④ おそろく
- イ (17) ① しばしば ② いきなり ③ おそろく ④ せつかく

問三 傍線部A・B・Cのここでの意味として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えなさい。解

- 答番号は (18)・(19)・(20)。
- A (18) ① たぶんもうすぐ終わるだろうと思う ② まさかこんなに長引くとは思わなかった
- B (19) ① 極限状況の中でも失われぬ愛情 ② 殺人集団と立ち向かっていく勇氣  
③ きつと今後も苦しめられるだろう ④ 本心に世間にさまざまなことが起こった
- C (20) ① 肉親との交流によって持てる達成感 ② 運命に打ち克つことで得られる安心感  
③ 魂の安定によって得られる幸福感 ④ 眼前の悲惨さに目を奪われない安定感

問四 傍線部1「私たちは想像力に頼らざるを得なくなりまし」とあるが、その理由として最も適切なものを

- 次から選び、番号で答えなさい。解答番号は (21)。
- ① 過去の出来事の記憶をもとに感覚体験を再現しなければ、未来のことを思い描けないから。
- ② 私たちの人生を完全に生きるためには、五官を働かせて得られた現実だけでは不十分だから。
- ③ 過去の感覚体験をいくら再現しても、現在から未来への一步を踏み出すことはできないから。
- ④ 想像力を働かせなくては、人生は自分が見たり聞いたりしたものだけになってしまふから。

問五 傍線部2「想像活動のもっとも重要なはたらき」と筆者が考えていることとして最も適切なものを次か

- ら選び、番号で答えなさい。解答番号は (22)。
- ① 未来を想像力で理解して、予測した未来の暗部を解消する創造的な仕組みを作ること。
- ② 想像力によっていやな現実をふりきって、明るい未来を思い描くことで悪夢から逃れること。
- ③ 報道記事やSNSの発信から想像力を働かせて、現実の世界の実態を認識しようとする事。
- ④ 想像力によって未来の社会のありさまを予測して、それをもとに今の行動を決めること。



## 問六

傍線部3「想像世界を『現実』として心に思い描くことによって、収容所生活の厳しい現実を感覚体験として直接心身に受けとめずにするだ」とあるが、その内容を説明したものととして最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は(23)。

- ① 過酷な現実生活に心を占められることなく、過去の記憶の中から自分の心に浄福をもたらすものを見つけて、そのものとの精神的な対話を繰り返すことで苦難を乗り越える。
- ② 収容所生活の現実をしばらくの間は頭の中から捨て去って、過去の生活の中での楽しかった出来事をいくつか思い起こしながら、現在の苦しみを乗り越えようとする。
- ③ 人間の醜さが全面に押し出されている現実の収容所の生活を認めず、少しでも精神の安らぎを感じられる対象を探し出して、それとの対話を通して現状の苦難を乗り越える。
- ④ 自分が頭の中で想像できることだけに心を向けるようにして、むごい現実や浅ましい人間同士の争いからは目を背けて、現在自分を襲っている厳しい現実を乗り越えようとする。

## 問七

フランクが収容所で出会った若い女性のエピソードから感じ取れることとして、最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は(24)。

- ① 人間の醜さや浅ましさに絶望したとき、人は大自然の営みに救いを求めるしか道は残されていない。
- ② どんなに過酷な状況の中でも、人間は自然界の命の営みにふれることで精神力を回復することがある。
- ③ 過酷な環境の中で自信の内面生活を崩壊させないためには、一種の幻覚症状に陥るしか方法がない。
- ④ 現実の厳しさに負けて生きる屍にならないためには、記憶の中の愛する人との対話が必要とされる。

三 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。解答番号は(25)と(37)。

私たちが共生する微生物は動物の進化にとって欠かせない役割を果たしてきた。共生微生物としては私たちの体内にいる腸内細菌などの細菌が取り上げられることが多いが、ウイルスも共生する「微生物」として扱う本がいくつも世に出ている。

ヒトのゲノム<sup>\*</sup>にコード(特定の遺伝子の塩基配列によって特定のたんぱく質がつくられること)されている遺伝子は2万個余りだが、ヒトの体内や体表にはたくさんの細菌が共生していて、それらの細菌の遺伝子数を合わせるとヒトゲノムの数百倍にもなる。これらの細菌の遺伝子は、ヒト自身のゲノムの遺伝子だけでは実現できないさまざまなタイシヤ<sup>a</sup>を助けている。

ヒトは社会的動物なので、他人の助けを借りずに自分の力だけでは生きられないが、生物としてのヒトもまた、細菌など微生物の力を借りなければ生きていけない。われわれは自分のことを自立した生物と考<sup>a</sup>えがちであるが、「ヒトは微生物によって生かされている」と捉えることもできる。

一方、ウイルスは、生物の細胞内ではソウシヨク<sup>b</sup>できないので、普通は生物とはみなされない。しかし、どんな生物もほかの生物の助けを借りないと生きられないのであり、(ア)の境界は曖昧である。

生物の特徴として、ゲノムを複製し、その際に生じる突然変異に対して自然選択が働くことによって子孫を増やすような形質が進化することが挙げられる。そのように複製しながら進化するものを「複製子<sup>ふくせいし</sup>(replion)」というが、(イ)もまさに自分の子孫を増やすように進化する複製子である。

「ウイルス」という名前はオランダの微生物学者マルティヌス・ Beijerinck (1851~1931) によってつくられた。Beijerinck は毒素固定を行う根粒菌という細菌の発見者であるとともに、ウイルスの発見者でもあった。彼は植物のタバコモザイク病の病原体としてウイルスというものをソウテイ<sup>c</sup>したのである。Beijerinck は、この病原体が活発に細胞分裂する組織でしか増えないことを見出していた。

ラテン語の「virus」は、「毒」という意味である。へび毒なども virus だったのである。ウイルスは中国語でも「病毒」というが、このようにウイルスは最初、病原体として捉えられていた。しかし、病原体としての関わり以外にも、さまざまな面でわれわれ(ウ)と深く関わってきたことが近年になって明らかになってきた。このことは、19世紀から20世紀を通じてもつばら病原体とみなされてきた細菌について、21世紀に入ってから腸内細菌をはじめとした細菌叢に宿主<sup>しゆしゆ</sup>が生きていく上での重要な役割が認められてきたことと似ている。

19世紀のチャールズ・ダーウィン(1809~1882)の進化論が当初なかなか認められなかった理由のひとつが、進化が ≪ A ≫ ということであった。彼にとっての進化は、

地質学的な年代をかけて進行するものだった。ダーウィンの時代にはウイルスの存在は知られていなかったが、これから見えていくように、ウイルスの中には1年のうちに大きく変化(進化)していくものもある。2020年以降に世界で感染が広がったCOVID-19のウイルスは、ゲノムの解析により、リアルタイムでウイルスの進化を追跡することさえもできるのである。

ダーウィンは種内の変異が進化を生み出す源と考えた。種内変異の中で、子孫を残す上で有利なもの（これを「適応的」という）が選ばれることによって、種が変わっていくという「自然選択説」である。生物の進化は、種内変異の中でいちばん適応的なものが選択されるかたちで進行するが、適応の基準は環境やほかの生物との関係で決まる。

種間関係の中で重要なもののひとつが、捕食者・被捕食者の関係である。捕食者から逃れるために被捕食者は速く走れるようになり、そのような被捕食者の進化が捕食者の走る能力をさらに高めた。このような両者の進化は軍拡競争にたとえられる。

もうひとつ、生物の進化を形づくる重要な要因が、感染症をはじめとした病気である。生物は感染症に対抗するための（エ）を進化させてきた。しかしウイルス、細菌、菌類、原生生物などの感染する微生物（ウイルスは文字通りの生物ではないが）は、たいてい宿主よりも早く進化するため、宿主にとっては軍拡競争において手強い相手である。その中でもウイルスには特に速く進化するものが多い。

## 「中略」

16世紀のはじめに、スペイン人がメキシコのアステカ帝国やペルーのインカ帝国をわずかな兵力で簡単に征服できたのは、彼らが持ち込んだ天然痘ウイルスや麻疹ウイルスなどがアステカやインカの人々に戦争で戦う前から大打撃を与えたためだったと言われている。スペイン人には

B

≪があった

る。征服者がイト<sup>d</sup>したわけではなかったが、ウイルスが強力な武器になったのだ。

およそ300万年前に、それまでパナマ海峡で隔てられていた北アメリカ大陸と南アメリカ大陸が陸続きになった。これにより、それぞれの大陸で独自の進化を遂げてきた動物相が自由に交流するようになった。これを「アメリカ大陸間大交差 (Great American Interchange)」という。

その後、南アメリカでは南蹄類や滑距類<sup>\*ななてい、かつきよ</sup>（マクラウケニア）などの植物食動物の多くが絶滅した。一般にはこの絶滅は北からやってきたラクダ科など植物食動物との競争に敗れたためと考えられているが、ホールデン<sup>\*</sup>によると、外来動物が持ち込んだ感染症のせいだった可能性もあるという。これが本当だとすると、北から来たラクダ科の動物がその後南アメリカの新天地でハンエイ<sup>e</sup>できたのは、南蹄類や滑距類よりも優れていたからというよりも、彼らが持ち込んだ感染症のおかげだったことになる。

これらラクダ科の動物にとっても感染症は歓迎すべきものではなかったが、結果的には競争相手と闘う上で強力な武器になったのだ。このようなことが実際にあったという確証を得る術はまだないが、感染症にこのような側面があり得るということを確認しておくのは重要であろう。

（長谷川政美 「ウイルスとは何か」より）

\*ゲノム 遺伝子情報の全体・相対をいう。

\*チャールズ・ダーウィン（一八〇九〜一八八二） 英国の博物学者。

\*南蹄類や滑距類 南アメリカ大陸にあって存在した絶滅種属。

問一 傍線部 a～e と同じ漢字が用いられているものを、次からそれぞれ一つずつ選びなさい。解答番号は (25)。

- |   |       |  |                 |                 |
|---|-------|--|-----------------|-----------------|
| a | タイシヤ  | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(25)</span> | ① 今月のゲツシヤを納める。  | ② ミサイルのハツシヤ台。   |
| b | ゾウシヨク | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(26)</span> | ③ シュクシヤに一泊した。   | ④ ドシヤ崩れの現場。     |
| c | ソウテイ  | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(27)</span> | ① 難しい臓器イシヨク。    | ② 昆虫のシヨツカク。     |
| d | イト    | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(28)</span> | ③ フクシヨクデザイナー。   | ④ 動物のセイシヨク器。    |
| e | ハンエイ  | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(29)</span> | ① 母校のソウリツ記念日。   | ② 両者に大きなソウイはない。 |
|   |       |  | ③ キンウテンガイな事件。   | ④ 卒業生のソウダイとなる。  |
|   |       |  | ① トシヨカンに通う。     | ② 異国からトライした品。   |
|   |       |  | ③ 有名なトザン家。      | ④ 外壁をトソウする。     |
|   |       |  | ① ハンカ街を歩く。      | ② 荷物のハンソウ。      |
|   |       |  | ③ 試験のハンイが発表された。 | ④ 生涯のハンリヨを得た。   |

問二 空欄ア・イ・ウ・エにあてはまる語として最も適切なものを次から選び、それぞれ番号で答えなさい。解答

- |   |  |          |          |            |           |
|---|--|----------|----------|------------|-----------|
| ア | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(30)</span> | ① 人間と動物  | ② 生物と無生物 | ③ 生物とほかの生物 | ④ ウイルスと細胞 |
| イ | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(31)</span> | ① ウイルス   | ② 微生物    | ③ 生物       | ④ 細菌      |
| ウ | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(32)</span> | ① 人間との共生 | ② 動物の生死  | ③ 動物の進化    | ④ ヒトのゲノム  |
| エ | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(33)</span> | ① 免疫の仕組み | ② 軍拡競争   | ③ 病気の治療    | ④ 微生物の能力  |

問三 空欄 A・B にあてはまる内容として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は (34)・(35)。

- |   |  |                                 |                                 |                                |                                  |
|---|--|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| A | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(34)</span> | ① 当時ヨーロッパで信仰されていたキリスト教の教えに反している | ② 病原体の一種であるウイルスのためであるとは考えていなかった | ③ 人間以外の動物のあいだにのみ起こることだと信じられていた | ④ ヒトの一生のあいだでは確認できないほどゆつくりとしか進まない |
| B | <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(35)</span> | ① この戦争に勝利するための革新的な作戦            | ② これらのウイルスに対するある程度の免疫           | ③ これらの病気を未然に防ぐためのワクチン          | ④ 新世界の人々に対して圧倒的に優勢な文化            |

問四 傍線部1「感染症にこのような側面があり得る」とあるが、その「側面」の内容として最も適切なものを次から選び、番号で答えなさい。解答番号は(36)。

- ① 感染症はどんな生物にとつても厄介な存在だが、そのおかげでたまたま生存競争に勝つこともある。
- ② ウイルスは相変わらず人類にとつては大きな脅威だが、そのために医学が進歩することもある。
- ③ 多くの生物は他の生物と軍拡競争を強いられているが、感染症を武器として利用することも多い。
- ④ 今後の戦争という局面を考えたとき、ウイルスを利用した生物兵器を開発する危険性が高まる。

問五 次の文を読んで、本文の内容とは合致しないものを一つ選び、番号で答えなさい。解答番号は(37)。

- ① ウイルスも含む微生物の中には、動物の進化にとつて欠かせない役割を果たしているものもある。
- ② われわれ人類も、細菌などの微生物の力を借りなければ生きていけない側面がある。
- ③ 進化論を唱えたダーウインの時代には、病原体の一種としてのウイルスは実在していなかった。
- ④ むかしスペイン人がメキシコやペルーの古代文明を征服した背景には、ウイルスの働きもあった。